

# New Hope

～札幌ペンテコステ教会ニュース～

2014年8月

お盆の時期、各所の墓地に訪れる人々が増えます。お寺関係の墓所に埋葬されている場合、その宗派に合わせた仏事がいろいろありますね。

葬儀の際に「極楽へ旅立って行かれた」方が、盆の時期に「地獄の釜の蓋が開き子孫のもとに帰って来る」というお話に違和感を覚える方がおられるかもしれません。「これは、〇〇家代々の伝統だから」「この地方では昔からこうしている」「日本人として当然の行事で」という説明をする方もおられますね。他の国々ではどうでしょう。お盆に関して、死後の世界について、どこでも同じような理解だと思いませんか。

## 札幌ペンテコステ教会

主任牧師 矢巻 邦彦

札幌市中央区南 14 条西 18 丁目 4-5

TEL&FAX 011-561-5072

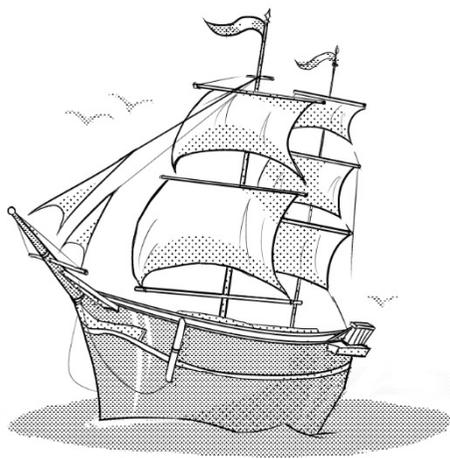
<http://sapporopk.com/>

# 『死』と、その後について

国籍、民族、言語、宗教、伝統、思想、時代にかかわらず、人間は母親から生まれます。地方によっては父親から生まれる、親から分裂して生じる、卵から生まれるとか、そういう違いはありません。医療の状況によって自然分娩だったり帝王切開だったりという本質的ではない違いがあるに過ぎません。

死については、どうでしょうか。信じる宗教が違えば、死後のあり方が変わるのでしょうか。様々な死生観がありますが、全部が真実であるはずはないのです。真実と嘘とがあるに過ぎません。誰一人として「死なない人」は居ないのに、死について、死後の世界について、あまりにも無関心、無知、鈍感でいるのではないのでしょうか。

パウロという人が、アテネ(ギリシャの都市)を訪れた時に、市内に多くの像が安置されているのを見て、市民に次のように語りかけました。

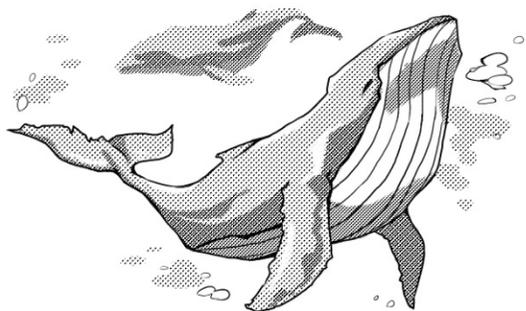


**「アテネの人たちよ、あなたがたは、あらゆる点において、すこぶる宗教心に富んでおられると、わたしは見ている。実は、わたしが道を通りながら、あなたがたの拝むいろいろなものを、よく見ているうちに、『知られない神に』と刻まれた祭壇もあるのに気がついた。そこで、あなたがたが知らずに拝んでいるものを、いま知らせてあげよう。この世界と、その中にある万物とを造った神は、天地の主であるのだから、手で造った宮などにはお住みにならない。** (新約聖書 使徒行伝 第 17 章 22～24 節)

日本にも、八百万の神々と称して、多くの信仰対象があります。先祖や亡き家族を偲び祈ります。そこに神々や先祖の霊が居ることを期待して、実際には何が居るのか検証することもなく、何となく手を合わせています。そして、それが敬虔で良いことであるかのように錯覚しています。『何となく……』それが、多くの人々の『信仰』です。何も知らず、よく考えず、ただ何となく、習慣で拝む。そういう事が多いのです。

「お盆」を機に、考えてみませんか。やがて来る「死」と、その後の世界について。曖昧な嘘を信じていませんでしたか。真面目に捉えて損はないはずです。あなたは確実に死を体験しなくてはならないのですから。正確に理解し、備えをしておかなければ、いざその時が来て慌てふためき後悔することになって遅いのです。

### 祈ってみましょう

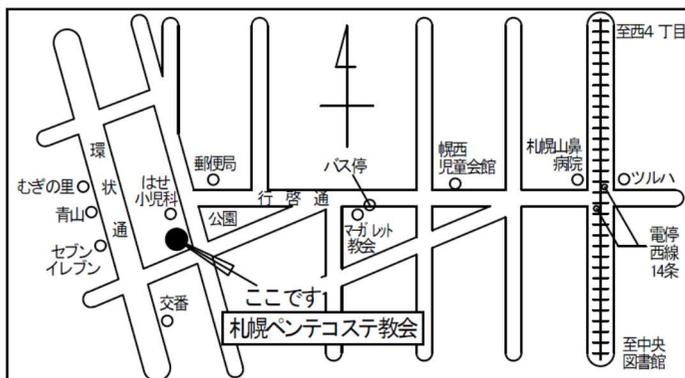


天地を創ったという神さまが実在するのでしたら、罪をゆるし永遠の命を与えるイエス・キリストが真実の存在なのでしたら、わたしが理解できるように助けてください。死と死後の世界について、真面目に考え、知ることができるように助けて下さい。今までの過ちをおゆるし下さい。

## 教会の定期集会のご案内

- GP クラブ** こどものためのプログラムです。(毎週日曜日 あさ 9:00~10:00)  
毎月 1 回、日曜日の午後「GP ワークショップ」を開催しています。
- 聖日礼拝** 聖書を通じて神さまを知ります。(毎週日曜日 あさ 10:30~12:00)
- 祈り会** 神さまを賛美し祈り新たな力を受けます。(毎週木曜日 よる 7:00~8:30)

どの集まりも参加自由、入場無料です。それぞれ、自由献金の時間がありますが、「感謝の気持ちをささげる」ためのもので、各自の自由です。



教会のホームページ  
<http://sapporopk.com/>  
NewHope のバックナンバーを読んだり、教会の様子を見たりすることができます。

西 4 丁目電停から市電にて  
西線 14 条下車

JR 札幌駅札幌ターミナルから、  
JR 北海道バス啓明線[51]にて  
南 14 条西 17 丁目下車